

2. 地層の多くは、海や湖に流れこんだ、れき、砂、泥がたい積をくり返してつくられる。

(1) れき、砂、泥のでき方に関する次の文の に入る適切な語句を書きなさい。

地表の岩石が、長い年月の間に、気温の変化や雨水などのはたらきにより、もろくなることを といい、もろくなった岩石が流水によってけずられ、れき、砂、泥かできる。

(風化)

(2) 河川などの水の流れることによって海や湖月に運搬される、れき、砂、泥のたい積に関する文として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア. 砂と泥を比べると、砂の方が水の中に沈みにくい。

イ. 粒の大きいれきほど、岸に近い所にたい積しやすい。

ウ. 砂や泥のたい積がさかんな場所には、深い谷かできる。

エ. たい積したれきが固まってできた岩石の粒の多くは、角ばっている。

(イ)

(1) ... 地表の岩石が、長い年月の間に、気温の変化や雨水などのはたらきによりもろくなることを風化という。

(2) ... 粒の大きさは れき > 砂 > 泥となっており、粒の大きいれきほど水に沈むのが速いため、岸に近い所にたい積しやすい。